

日本農業史学会

2019年研究報告会

個別報告

120講義室

- 第1報告:9:00~9:45
津田仙・学農社の人的系譜
—学農社社員池田次郎吉と早稲田農園を中心に—
下村 明德 (東京農業大学大学院)
- 第2報告:9:45~10:30
戦間期における農会立女学校の設立・指導理念と教育
内容—各県農会報を題材として—
徳山倫子 (京都大学研究員)
- 第3報告:10:30~11:15
初期産業組合の区域と設立者
大栗 行昭 (宇都宮大学)
- 第4報告:11:15~12:00
近代日本の郷蔵—滋賀県—村落の地主小作関係—
坂口 正彦 (大阪商業大学)
- 第5報告:12:00~12:45
農地改革後の農業開発株式会社の設立構想とその挫折
—石黒忠篤関係文書を利用して—
齋藤 邦明 (和光大学)

116講義室

- 第1報告:9:00~9:45
近代以降における東アジア昆布ロードの変容
高 燎 (北京大学大学院/京都大学)
- 第2報告:9:45~10:30
ベトナム北部における酪農業の存立条件と発展の歴史
—ハノイ市バヴィ県を対象とした酪農業発達史—
森山 浩光 (放送大学)
- 第3報告:10:30~11:15
社会史からみた二林蔗農事件
—日本統治期台湾農民運動の再検討—
都留 俊太郎 (京都大学非常勤講師)
- 第4報告:11:15~12:00
農業奉公における労働を通じた「障害者」の包摂
—山形県庄内地方の若勢に着目して—
阿部 友香 (大谷大学)
- 第5報告:12:00~12:45
スマート農業の技術論的位置づけ
—中国と日本の事例から—
李 海訓 (東京経済大学)

シンポジウム:13:45~17:30 120講義室

国家統制と農業・食糧

—社会主義農業とは何だったのか—

解題・司会:白木沢旭児 (北海道大学)

第1報告 ソ連の農業政策・食糧政策—経済外強制から経済的刺激へ—
野部公一 (専修大学)

第2報告 中華人民共和国の食糧統制と農業集団化—1950年代半ばを中心に—
松村史穂 (北海道大学)

第3報告 農業・食糧統制から社会主義建設へ—東ドイツ農業の戦後史—
足立芳宏 (京都大学)

第4報告 戦後日本農村における食糧統制と民主化 1945-1970
永江雅和 (専修大学)

コメント: 坂根嘉弘 (広島修道大学)

総会:17:30~18:00 懇親会:総会終了後

問合せ先:日本農業史学会事務局

tel:075-753-6184 fax:075-753-6191 mail:office@agrarian-history.sakura.ne.jp

3月29日(金)

筑波大学

東京キャンパス

120講義室・116講義室